

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ビクトリア大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	10000 円	
現地通学費	4500 円	(研修先まで 60 分) バンクーバー旅行の際の交通費
教養娯楽費	30000 円	
被服費	円	
雑費	95500 円	お土産等含
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	180000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地空港 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本でインターネットで申し込み
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
パーティー用のセミフォーマルの服はきちんと持って行った方が良い

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
学校の先生や現地の友達、インターネットで調べた パスポートケースを小さいポシェットとは別に用意し、常一番上に着ている服の内側に入れていた
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
問題なし

滞在形態関連
1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
衛生概念が異なるためはじめはびっくりしたり少ししんどいところもあるかもしれませんが、慣れるので心配しなくて大丈夫です

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
放課後のいろいろな人と関われるアクティビティやボランティアの方と話せるものなど自分から参加型のものも積極的に参加すると役立つと感じました
2) 課外プログラムについて
たくさんの新しい友達ができるので積極的に参加するべきだと思います
3) 滞在先・現地での生活に関すること
とにかくわからなかったり困ったり、あとは英語力を伸ばしたいと思ったら、はじめは緊張するけどとにかく誰にでもたくさん話しかけると良いと思います

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>私は、もともとカナダに行きたくて、また田舎の方の比較的安全でのんびりしたところがいいと思っていたので、プログラムを決める際にはどこにするかは迷いがなかったです。はじめは緊張するし、英語に自信がないのは当たり前なので、とにかくそこは全員同じだから心配しないで、いかにはやく英語を話すことの恐怖心などを取り除けるかが大切だと感じました。私は、英語が間違ってもいいと腹をくくって、ホストファミリーにたくさん話しかけてみたり、授業が終わっても日本人の友達とも英語で話すようにしたり、ボランティアの人と積極的に話して仲良くなったり、とにかくたくさん英語を話す機会に触れようということを頑張りました。家が学校から遠かったので、バスの隣に座ってきた現地の人にも話しかけてみたり、あとは買い物や飲食店で店員さんに、雑談のような話などでもできるだけするように意識していました。ただ、正直英語力が伸びているかが不安で、自分は今日までにこの留学でなにを学んでどれくらいにができるようになっていくかわからず焦っていた日もありました。ただ、帰ってきてからバイトの時に外国人の方の接客をした際に、自分から進んで英語を話したり、最低限のこと以外にも少し話せたりできていたことに自分でも驚いたと同時に、留学に行ったことで英語を話すことに対する恐怖心がなくなったと気付きました。</p> <p>留学では、焦らずとにかく話しかける、など何か自分で一つでも目標を決めて日々楽しめばすごく意味のあるものになると思います。これから行く人は本当に楽しんでください！</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ビクトリア大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20,000 円	友達との外食
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7,000 円	Phone Box eSIM を利用
現地通学費	0 円	(研修先まで 20 分) One card(学生証)でバスは乗り放題
教養娯楽費	50,000 円	バンクーバーツアーへの費用を含む
被服費	12,000 円	Farewell Party 用のジャケット購入費
雑費	0 円	
その他	15,000 円	例: 日本からのお土産代
その他	35,000 円	例: 日本へのお土産代
合計	132,000 円	概算

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本での外貨交換 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Phone Box という会社を通して eSIM を利用した。出発の1ヶ月ほど前に注文した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
<助かったもの> エコバック(袋が有料のため。)・のど飴(家の乾燥で声が枯れたため。)・電子辞書 <持って行ったほうが良かったもの> セミフォーマルな服(Farewell Party で必要のため。)・運動着(スポーツアクティビティがあるため。)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ホストファミリー) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
研修校のスタッフである CA からの情報。鍵や貴重品、スマホはチェーンで持ち物に繋いでいた。 盗難の被害にはあっておらず、聞いてもない。治安はものすごく良いと感じた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

家の Wi-Fi は不安定なことがあったが、スマートフォンを 1 ヶ月 25GB の契約にしたので、5G 回線で問題なかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人) 別部屋に同じプログラムに参加している生徒1名

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可) 上記の1名とはバス・トイレ共用

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

生徒 1 人に対して必ず個室が与えられるため、プライバシーも守られている。広すぎるというくらいの感じであった。ハウスルールもあったが、多くが日本と同じであり、困ることはない。特に注意しておくべき点は、洗濯は週に 1 回、シャワーは 1 回 10 分程度ということくらいである。何度もホームステイを受け入れている家族であったため、困ったことがあっても絶対に助けてくれるので、質問はどんどんするべきである。そして、何よりもこちらから隣に座ったり、話しかけたりすることをどんどん行ったほうが良い。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

月曜から木曜日まで 1 日 5 時間程度、英語の授業を受ける。私のクラスは 15 人で、日本の授業とは異なり、とにかく会話を中心であった。これがものすごく楽しく、生活で使う英語、文化、クラスメイトのことを学びながら、発音・文法・英作文・リスニングをバランスよく学ぶことができた。英語で 5 分程度のプレゼンを行ったことも、今後の地震につながるものであった。

2) 課外プログラムについて

バンクーバーへの 2 泊3日の旅行やアイスホッケーの試合観戦といったアクティビティは有料であるが、とても楽しく思い出に残るものであった。また、毎週水曜日の conversation club では、放課後に英語で会話をするため、自分のクラス以外の子ども友達を作ることができた。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

ビクトリアの治安は良いと感じた。ものすごく綺麗な街であり、大学やショッピングセンターであればトイレ等も清潔に保たれていた。夕食は1ヶ月間、毎日異なったものを提供してくれ楽しむこともできた。日本食レストランも多くあり、ラーメンや寿司はとても人気で美味しかった。物価は高いと感じ、12%の税金も加算され、レストランではチップも払うとなると日本よりも 1.5~2 倍はかかる感じがする。大学構内を含むほぼ全てのお店でカードが使える、カードが主流であるため、現金はあまり持っていなくて大丈夫と感じた。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私が海外研修へ行こうと思ったのは、小学 5 年生の頃から行っていた英会話の力を試して海外へ行きたいと思ったからである。そして、ビクトリア大学を研修先として選んだ理由としては、カナダは英語の発音が綺麗なこと、比較的治安が良いことの 2 点が大きなものである。この1ヶ月間は、初めての海外渡航だったことあり全てのことが新鮮でとても楽しかった。もちろん、店員が何を言っているのかわからないことや、レストランのメニューが何かわからず、日本とは異なる注文や会計の仕方にも戸惑いを覚えるということもあった。しかし、1ヶ月という期間の中で徐々に慣れていき、終わってみれば全てが良い思い出である。

また、ホームステイ先ではハウスメイトに明治大学から同じプログラムに参加している人がおり心強かった。しかし、2 人の中で家にいる間は英語を使って会話することをルールにしたおかげで、英語力が上がったと思う。そして、何よりもホストファミリーも話に入ってきてくれるという事があり、夕食後にテレビを見ながら話したことはとても楽しかった。初めのうちは自分から話すことができなかつたため、来て1週目からもっと話せば良かったと後悔が残っている。それでも、家族とお酒を飲んだり、スケートに行ったり、山に登ったり、カジノに行ったりと忘れることのできない思い出はたくさん作れたため、ホストファミリーと別れるのが辛かった。

さらに、毎日の授業では、日本の春休みシーズンだったこともあり、クラスに日本人しかなかったが、会話中心の授業で楽しかった。日本の英語の授業もこのようにやれば楽しくて、実力が付くだろうと感じた(笑)。クラスは初めのテストで5段階にレベル分けをされ、私は真ん中のレベル3であったが、クラスの英語力は高いと感じた。先生も含め皆、フレンドリーで面白く、授業はあっという間であった。日本の授業では意識しない、発音や語法の使い方といった今まで習ってきたものにプラスされるものが多かった。4週間

3回のプレゼンと1回の会話劇をクラスの前で行ったが、自分の自信になるものであった。このクラスは密な関係を作れるものであるので、日本各地から来ているそのほかの大学の友達を作ることでもできた。最後の Farewell Party は先生とクラスで会う最後の機会であるため、とても心にきた。なお、セミフォーマルな服を日本から持参することを勧める。

この1ヶ月間は、今まで生きてきた中で1番濃いものであった。全てことが新鮮であり、充実していて貴重な経験であり、一生忘れることはないだろう。この留学を通して自分が1段階も2段階も成長できたと信じているし、間違いなくこれからの自分の糧になると思う。もし、これを読んでいて、海外研修に行くことを迷っている人がいるのであれば、ぜひ、チャンスを逃さないで欲しい。

最後に、この留学に関わってくれたホストファミリー、研修校の先生、両親、友達、その他関係者に感謝したい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	2022年度春季 海外語学演習 ビクトリア大学
------------	-------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約60000 円	食費は想像以上にかかった
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約6000 円	Phone box の sim を使うことを勧める
現地通学費	0 円	(研修先まで 40 分)ビクトリア内のバスは無料
教養娯楽費	80000 円	充実した毎日を過ごすためにはそれなりにお金を使う
被服費	10000 円	古着が安かった
雑費	20000 円	
その他	20000 円	例:アメリカに行くための visa 取得にお金がかかる
その他	円	例:
合計	約190000 円	外国は日本よりもはるかに物価が高いため、思ったよりもお金を使った。

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:成田空港で3万円、現地で2万円両替した。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Phone box というカナダの携帯会社の e-sim を使用した。楽で安くお勧め。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日記帳は用意しておいてよかった。1日の思い出をすぐ書き足すことができるので。 Farewell party 用のスーツは持ってきておけばよかった。比較的フォーマルな服装が必要になるので、現地で購入しなければならなかった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
カナダのビクトリアはかなり安全な場所であり、よほどのことがない限りは犯罪に巻き込まれることはない。防犯対策に関しては、貴重品等をポケットにしまわないようにした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

WIFI ルーターよりも sim カードの方が圧倒的に安定してインターネットを使用できる。自分は sim を使用したので何の心配もなく安心して使用できた。しかし、友人は WIFI ルーターを使用していたが、高価で且つインターネット接続が不安定だったので、かなり苦しんでいる様子だった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
やはりホームステイ先は当たり外れが激しいと感じた。カナダのビクトリアでは90%が良質なホームステイ先であったが、友人の中にはホストファミリーとの関係に苦しんでいる人もいた。言いたいことがあったら面と向かって話すことを強く勧める。日本とは異なり、海外の人は”察する”ことは難しく、面と向かって話さなければ、何も解決することはできない。最初は緊張するかもしれないが、積極的にコミュニケーションをとってほしい。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
海外の語学研修プログラムはとても役に立った。授業はグループワークが多く、日本の授業に比べてはるかに楽しい。そして、英語をスムーズに話せるコツを沢山教えてくれる。海外に行ったことないという人にはかなりお勧めのプログラム構成だった。	
2) 課外プログラムについて	
課外プログラムはとても充実していた。近くのダウンタウンのツアーをやってくれたり、海外の人と一緒にゲームをしたり、スポーツをしたり、ホッケーゲームを見たりと、楽しいことばかりだった。	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
カナダの料理は想像以上においしかった。ただ、高カロリーなものばかり出てくるので、食べ過ぎたら確実に太る。シャワーは日本とは異なり、水資源が不足しているので、短い時間で済ませる必要がある。夜の外の街は急激に治安が悪くなるので注意が必要。マリファナの匂いが本当にきつかった。	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

明治大学国際教育センター主催の海外語学研修に参加して本当に良かった。1か月という短い時間ではあったが、バンクーバーに旅行に行ったり、wheel watching に参加したり、自分のルームメイトの誕生日パーティを開いたり、プロのホッケーゲームを観戦したりと1か月間とは思えない程、たくさんのことを経験し、充実したプログラムだった。また、大学内の授業ではグループワーク主体であり、英語でクラスメイトを楽しくコミュニケーションを取りながら授業が展開される。日本の授業よりもはるかに楽しかった。外国人とも友達になり、日本に帰国しても互いに連絡を取り合うほどの仲になった。自分はカナダのビクトリア大学に留学したのだが、ビクトリアはかなり治安が良く、人も温かい人たちがばかりなので、留学に行ったことないよという人にはかなりお勧めの留学先だった。是非参加してほしい！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ビクトリア大学 2022 春季
------------	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	25,426 円	
図書費	0 円	大学から貸し出し
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	何も契約せずに現地では Wi-Fi のみを使い生活していた
現地通学費	0 円	(研修先まで 50 分) 大学からバス乗り放題券が支給された
教養娯楽費	1459 円	
被服費	18,457 円	
雑費	2187 円	ホストファミリーへ花束
その他	33,612 円	例: 化粧品など含む日用品
その他	33,624 円	例: お土産
合計	114,765 円	

渡航準備について

1) ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
なにも準備せずにカナダに乗り込んだが、特に困ったことはなかった。 地図や買い物などで分かりづらいところはほかの友達と行動したり、事前にホストファミリーに確認したりした。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
フェアエルパーティ用のドレス

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーや友人、大学の先生に聞いて予防アンテナを張った。 でもほかのバンクーバーなどと比べてもかなり治安はよい方だったと思う。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

大学や、家もしっかり早い Wi-Fi 環境だった。
また、ショッピングモールや教会、レストランなどいたるところにフリー Wi-Fi が張りめぐらされており現地の SIM を入れなくても問題は特になかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 0 人)	
3) 共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>私の場合は滞在している日本人が一人で、家にいる間は絶対に英語を話さないといけない環境作りがよかった。 友人に聞くと、ホストファミリーの人種や民族によって料理がかなり変わってくると思う。 私の場合はホストマザーが中国系、ホストファザーがハンガリー系だった。 家での料理は本当においしくて、食事面でも不満がなかったのもとても快適だった。 料理、ホストファミリーの態度、住居、大学からの距離の順で、プログラムの満足度が決まってくるのではないと思った。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
<p>英語をゲーム感覚で学べるどころ、また、フィーリングで答えを選んでしまいがちな英語学習ではなく、どうしてこの答えを選んだのかを説明することを求められるのでかなり英語の語彙や文法が身についたと思う。 また、学んだことをホストファミリーとの会話ですぐに実践できるので、学ぶことの楽しさを感じられた。 加えて、PowerPoint を使ったプレゼンが月に3回あり、英語を使って人に何かを説明することの難しさやりがいを感じた。 授業プログラムは今までの英語教育の中で断トツで楽しかった。将来英語教諭になりたいと思っているので、ここで得た経験を将来の日本の教育に生かしていけたらなと思った。</p>	
2) 課外プログラムについて	
<p>ダウンタウン観光や、ミュージアム案内、映画は無料で、追加料金を払えばバンクーバー観光やアフタヌーンティーなどかなり充実していたように感じた。</p>	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
<p>クレジットカードはタッチ式の方が楽でオススメだと感じました。 私の場合はクレジットカードのトラブルがあり、一週間ほどクレジットカードが使えないということがあったので、タッチ式にしておけばよかったなあと感じました。 アメリカンエクスプレスは場所によっては使えないところがあります。 でも、JCB のデビットカードなら海外で使えてる子もいました。</p>	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私はこの研修先を選んで正解だったと思いました。
その理由としてはほかの国や地方とは違い、かなりの治安の良さが第一に挙げられます。
ダウンタウンにはホームレスの人はいますが、想像よりもずっと少なかったです。
また、見知らぬ人に話かけられて怖い思いをしたこともありませんでした。
それどころか、町の人とはとてもやさしく、ドアの開け方などで困っていたら優しく開け方を教えてくれる人や、友達と座るために席を譲ってくれる人、日本の文化に興味があって日本について聞いてくれる人などばかりで、人種差別を感じたこともありませんでした。
総じてカナダの人の良さに感動して、また来たいと思えました。
でも、日本人あるあるで相手に話しかけるのを躊躇してしまう点や、会話に入り込んだら迷惑かなとか考えて受け身の姿勢になってしまい、コミュニケーションを積極的に取りにいけなくなってしまうことが多いのではないのでしょうか。
私自身もおどろいたのですが、みんな話しかけられたら優しく陽気に会話をしてくれるので、自分から積極的にコミュニケーションを

取るようにしてください。さもないと、会話をしようとする気がないと思われて、会話を振ってもらえなくなくなります。
あとはもう少し、日本にいた間にもっと勉強をしておけば良かったなと思いました。せっかくの海外のしかも、限られた一か月でカナダで英語の確認をしていたらもったいないので。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ビクトリア大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	28600 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	教科書は貸し出し用のものを使用
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	250 円	(研修先まで20分)初日のみ現金で支払い、その後は大学のカードで通学
教養娯楽費	31000 円	バンクーバートリップという有料のアクティビティ
被服費	17200 円	大学で購入したスウェットやパーティーに参加するためのジャケット
雑費	17300 円	スナック菓子やドリンク代、施設への入場料など
その他	15000 円	例:カジノ
その他	23900 円	例:お土産:メープルクッキーやマグカップなど
合計	133250 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:日本にある外貨両替のサービスを運営している場所で両替してから行きました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードを購入しました。準備としては日本にいる間にサイトから開通手続きを済ませて、カナダについてから差し替えて使っていました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
寝ぐせ直し、櫛、髭剃りなどの必需品やティッシュペーパーやウェットティッシュは使用頻度も高く、お家にも置いてなかったのでかなり重宝しました。他にも向こうで具合が悪くなったことがあり、その時に常備薬をもっていったのでそれらも役に立ちました。また、準備したほうが良かったものとしては、向こうでは家の中を温めるために常に暖房が効いておりかなり乾燥するためののど飴などののをケアするものや1週間に1回しか自分の洗濯日がなかったので下着などは最低一週間分もしくは余裕をもって8日分程度準備しておけばよかったです。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:ホストマザー、ホストファザー) 特記事項:現地で新型コロナウイルスに感染してしまった時、直接話すこともできないと考えたため、メールを使ってより取りをすることで済ませました。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
自分の鞆は常に見える位置かそばに置いておき、それができないときは友人に頼み見張ってもらうように心がけました。実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありません。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ホストファミリーの家のインターネットはまれに一日のうちで繋がりがなくなるタイミングがありましたが、基本的に問題なく使えました。また、学校にも WIFI が完備されており不都合はありませんでした。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

自分の滞在先は同じ大学の生徒でかつ部屋もそれぞれの個室が割り当てられていたので騒音の問題であったり就寝時間の違いなどの問題には全く悩む必要がなかったのでとても快適でした。しかし、トイレやバスルームは共用だったためその時は二人で相談してどちらが先に入るかなど決めていました。また、アドバイスとしては、自分の例とは異なり相部屋でおかつ違う大学の生徒と生活をするようになる場合も起こりうるかと仮定しそうなった時に備えて頭の中でどうすればよいかシミュレーションをしておくと思いいます。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先での役立つと感じたプログラムや内容

私が役立つと感じたものは大学の授業です。大学の授業はまず、初めて大学に行く日にテストを受けてその結果に応じていくつかあるレベルのうちの一つのレベルのクラスに配属されます。授業内容としてはスピーキングに特化した形を採用していて、前日に何をしたのかや、これから何をやる予定なのかなどの簡単な話から教科書の問題などに対してペアを組んでディスカッションをするなどの少し難しめのもので幅広く話す機会を得ました。また、それ以外にもカナダの家族やお土産事情などその土地に根ざした話題も会話のテーマとして取り入れられていたのでカナダについての知識も得ることができました。そして、当然、それ以外にも発音や文法、リスニングやライティングのテストなどもしっかりと実施されたため、スピーキングの向上がメインの目標だとは思いますが 4 技能をまんべんなく学ぶことができました。

2)課外プログラムについて

課外プログラムとしてはまず、授業が終わった放課後に行くことができる Learning Centre という場所が非常に役立つと感じました。そこには現地のボランティアの方々と話することができるブースがいくつかあって、様々な方々と交流することができます。自らが授業やホストファミリーとの会話で培った英語力を試してみたいという場合もちろんですが、現地の方と密接に会話をしなければ得ることのできない文化の違いや様々な知見、人間性なども同時に触れることができ、ただ英語を話すだけでは終わらない魅力がありました。補足情報として、ブースの数にも限りがあり、同じように考える生徒も多いため予約待ちになる場合もあるため、その場合はしばらく待ってから話すことができます。また、他には大学の Cultural Assistant staff (ボランティア学生)が放課後に Conversation Club と呼ばれる音楽を使ったビンゴ大会や会話を通して課題を解決するなどのアクティビティを開催してくれたり、週末には観光地の案内をしてくれてスポーツを一緒にすることもあり、楽しみながら英語を学ぶこともできました。

3)滞在先・現地での生活に関すること

まず、気候についてですが自分が想像していたほど寒くはなく、日本の寒い日と同じようにしっかり着込めば問題なく過ごすことができました。また、ビクトリアは住宅地とダウンタウンとはかなり雰囲気が異なりました。ホストファミリーが住んでいるような住宅地はとても静かで自然が豊かな場所で人々の人当りもよく過ごしやすい環境であったため、環境に適応するために時間は必要ありませんでした。しかし、ダウンタウンは多い人であれば大学の次ぐらいに行く回数が多い場所だとは思いますが、雰囲気はだいぶ異なり自然が少なくなりお店やビル群などが増えるのはもちろんなのですが、それよりもホームレスの方が道のわきに普通に座っていたり、向こうでは合法のマリファナのにおいなどが漂っていたため慣れるのにかなり時間がかかってしまい、できる限り気を張って歩くようにしていました。また、朝食や昼食はホストファミリーが作ってくれるという家庭もあったそうなのですが、自分の滞在先は基本的に自分たちで作る形だったので前日の残り物を持っていてもよいと言われていたのでそれを持っていき、それがなくなるとは簡易的なサンドイッチを作って持って行っていました。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私がこの研修先を選んだ理由は大きく分けて二つあります。一つは純粋にカナダという国に行ってみたくかったためです。私がカナダに行く前に持っていたイメージはとても寒いけれども、空気がとても澄んでいて人々もおおらかで優しく、多種多様な文化が融合したような場所であり、英語だけでなく他にもいろいろなことが学べると考えていました。実際に行ってみた感想としては、気になっていた寒さに関してはしっかり着込めば全く問題なく生活できる程度でした。人々については確かに優しくおおらかな人は多かったのですが一人の時間を大切にするような人もそれなりにいたことには驚きました。そして文化については予想通り様々な国籍の人と接することができ様々な国の料理を食べることができるなどそれらを通していろいろなことを学ぶことができたと思っています。また、二つ目はこのプログラムの研修内容についてです。同じカナダであれば他の大学の候補もありましたがその中でもビクトリア大学は生徒の自主性を重視しアクティビティやフィールドワークなどを通じて英語を学ぶことができるという点に目を付けました。他の大学ではカナダの文化や政治的な授業を通して英語を学ぶという形態で英語を学ぶだけでなくカナダについても学べるという点で素晴らしいなとは思いますが、私はカナダの政治には興味がなく、それよりも楽しみながらの方が一番の目的である英語力の向上に寄与するなと考えました。実際に行ってみると、大学の授業はスピーキングに焦点を置いており、ペアやグループを作って学習するのですが毎日毎日授業に行くのが楽しみになるくらい笑顔が絶えなくて楽しく、先生がそのような楽しい教室づくりを心掛けていたということも大いに感じられて、自分の予想を完全に超えたとても良い機会だったと考えています。また、大学のボランティアの方々も私たちのような留学生のために様々なアクティビティを考えてくれていて、それについて深くは語りませんが同じように楽しく英語を学べる機会が用意されていたということがしかり実感できました。結果としては、楽しんで学べたからこそ自分の英語力、特にスピーキングの力はかなり伸びたなと実感できています。最後に後輩学生に向けたアドバイスをしたいと思います。このアドバイスは留学しようか悩んでいる人というよりかはどこに留学しようか悩んでいる人に向けたものになると思います。それは自分の適性に合った環境がある場所を選ぶというものです。前述したとおり私はカナダの政治等には興味がなくそれを通して英語力はあまり向上しないのではと考えました。このように、自分にとって興味のない分野や合わない学習方法では成長は見込めないと思います。だからこそ、自分の適性は何かを見極めて調べられる限りの情報と照らし合わせて自分に合った研修校選びができると、その研修は必ず各々にとってかけがえのない最良の経験になると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ビクトリア大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	49553 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6500 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	54006 円	
被服費	14992 円	
雑費	381 円	
その他:お土産代	42823 円	例:お菓子、雑貨、被服
その他:公共料金	7411 円	例:旅行先での交通費
合計	166255 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:横浜駅で換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードを Phone Box というサイトを使って出発の 2 週間前に申し込んだ。友人に SIM ロック解除を日本でしないまま渡航してしまい、現地で SIM カードが機能しない事例があったので、SIM カードでの通信手段をとるならば事前準備を万端にすることをおすすめする。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
胃薬や痛み止め、風邪薬、整腸剤といった薬類は持って行って良かったと感じた。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーや友人から治安が悪い場所の情報をもらった。またホストファミリーから、ダウンタウンにはホームレスが多くいて、彼らはお金を要求してくるが、お金は持ち合わせていないと言って無視するようにと伝えられ、その通りに実行した。実際に犯罪やトラブル、怖い目に遭ったことはない。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

大学での Wi-Fi 環境は快適だったが、ホームステイ先の接続は不安定で、パソコンはつながるがスマホの Wi-Fi 接続が弱かった。最終週はほとんどつながらず、ギガを大幅に消費した。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
とても良くしてもらえ、過ごしやすかった。私のホストマザーは日本人で、平日の朝食も昼食も準備してくれたおかげで、毎食健康的でおいしい料理を楽しめた。せっかくのホームステイなので、ホストファミリーと臆せずたくさん話した方が良いと思う。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
朝 9 時から 3 時まで、毎週 20 時間の授業と、それに加えて宿題やプレゼンの準備等があるため、英語能力の向上が見込まれる。授業では、ペアワークやグループワークでのディスカッションの機会が多くあるため、スピーキング能力が鍛えられることが最も魅力的である。	
2) 課外プログラムについて	
現地大学生が授業のない金曜日に、ダウンタウンツアーや博物館見学、IMAX 鑑賞を仕切ってくれる。また、週末に High Tea や Hockey game、そして 2 泊 3 日の Vancouver trip を、追加料金を支払うことで申し込める。これらは先着順であり、定員に上限があるが、もし申し込めなくても友人同士で計画して、自分たちで遊びに行くのも可能である。	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
ビクトリアは本当に治安が良く落ち着いていて、人も親切で、困っている人がいたら助けてくれる。バンクーバー島の交通手段はバスとタクシーであり、ビクトリア大学の学生証が市内バス定期になっているため、ビクトリア市内はどこにでも行きやすい。英国調の建物だけでなく、お城もあり、海外の雰囲気をも十分に味わえる。花やガーデンが有名で、冬の時期よりも春や夏の方がより魅力的な町並みになるらしい。	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私はできるだけ長い間留学プログラムに参加して、語学能力向上に努めたいという気持ちでいたため、滞在期間約4週間で週20時間の授業時間があるというこのプログラムに参加しました。また、ビクトリアの英国風な町並みを見てみたいという興味、そして治安が良いという安心感、さらにカナダには日本を含めた様々な国からの人が住んでいるという特徴も、この研修先にした理由です。研修先には、本大学の他にも日本の各地の大学からの留学生が多く参加しており、英語能力を向上させたいのであれば、授業以外の場でも友人と日本語ではなく英語で話すように心がけると良いと思います。自分がこの滞在中にどうなりたのかをしっかりと頭の片隅において勉強に励むと成果が出るはず。ビクトリアに来るときのアドバイスとしては、冬の滞在であれば暖かい服をしっかりと持ち運んでください。3月とはいえ日本よりも日中寒い上に、物価が高いため新しい服はお土産以外買わずに済む方が良いと思います。アウターは2枚ほど持参することをおすすめします。また修了書を受け取る Farewell party ではセミフォーマルな服装での参加が必須です。今回のプログラム前に明治大学からはそのようなことは何も言われなかったため、明大生は急遽現地でおしゃれな衣服や靴を調達することとなりました。なお、現金は多く持参しなくても大丈夫ですが、クレジットカードは会社の違うカードを2種類持ってきましょう。友人がコストコで買い物する際、レジでマスターカードしか使えないのに彼女が持ってきたカードは2枚とも VISA で支払いができないという事例がありました。以上のことに気をつければ、ビクトリアでの留学はとて有意義なものとなるはず。です。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ビクトリア大学春季研修
------------	-------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費	0 円	
学用品費	1000 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 30分)
教養娯楽費	30000 円	アウトレットでカバンと財布を購入
被服費	15000 円	フェアウェルパーティーのためのドレスと大学のパーカーを購入
雑費	3000 円	コスメ
その他	15000 円	例:お土産
その他	40000 円	例:学校のアクティビティに参加
合計	140000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なかったです
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:外貨両替ドルユーロ(外貨両替宅配サービス) その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Phone box (e-SIM)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
セミフォーマルのドレス →学校の最後のパーティーのために現地で購入しなくていけなかったが、サイズが合うものを見つけるのがとても難しかった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
とにかく自分の荷物から離れないようにしていた。スマホは無くさないようにストラップのようなものを購入して常に首にぶら下げている。盗難などには巻き込まれなかったし、ビクトリアはとても治安が良かった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
インターネットは問題なく使えた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
滞在先の家族はとても親切にしてくれて、ご飯もとても美味しかった。夕食後には一緒にドラマを見たり、カードゲームをしたりして楽しんだ。しかし、基本的には仕事で忙しい家族であったため、自室で一人で過ごす時間も多かった。短期留学だとホストファミリーと過ごす時間はとてもあっという間に過ぎてしまうために、積極的にリビングにいてコミュニケーションを取ると良いと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
授業は月曜日から木曜日までで 9 時から 15 時くらいまでであった。金曜日は参加任意の学校外アクティビティがあったため授業はなかった。授業内容はグローバルイシューや文化についての学習、テキストを使ったリスニングや読解問題であった。ディスカッションやペアワークの時間がとても長くクラスメイトとは親密な関係になることができる。また、英語の発音のつながりや日常フレーズ、イディオムなどとても役に立つことも沢山教えてくれた。
2) 課外プログラムについて
授業以外にもダウンタウンツアーや映画鑑賞、ホッケーゲームや、バンクーバーツアーなどがあった。ツアーに関しては、ほとんど自由時間であったため、自分が好きなことをすることが出来る。映画鑑賞はカナダの広大な自然のドキュメンタリーを大スクリーンで見ることができる。ホッケーゲームはとても広くて本格的な会場で楽しむことができる。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
現地はとても物価が高い。また、カフェやテイクアウトの購入以外ではチップも払わなくてはいけないため経済的には結構厳しかった。しかし、現地の人はとてもフレンドリーで優しくとても良い町であった。また、とても豊かな自然に囲まれていて、鹿やリスが見られるほか海に行くこともできる。治安も良かったので平和で住みやすい場所であると感じた。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修先を選んだのは、様々なプログラムの国や地域を調べていく中で、ビクトリアの美しい景観に惹かれたからである。ビクトリアで過ごした一か月は自分にとって人生で一番濃いものであった。学校の授業ではディスカッションやペアワークが多かったために英語を話す機会が沢山あったのが良かった。また、金曜日は授業の代わりにアクティビティがあり、ホッケーゲームの観戦や町のツアーに参加することができる。物価は高いがレストランの料理はどれもとても美味しく、店員の接客もとても良かった。また、街の人はとてもフレンドリーで話しかけてくれることも何回もあった。ビクトリアは本当に良い町でみんなが帰りたくないと言っていたのでこのプログラムを選んで絶対後悔しないと思う。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ビクトリア大学 2022 春季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	47000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7800 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 30分)
教養娯楽費	4700 円	
被服費	12700 円	
雑費	0 円	
その他	46000 円	例:お土産代
その他	3800 円	例:入園料など
合計	122000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:空港で換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地に到着した日に SIM カードを買いに行った。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
フェアレルパーティーに使用するセミフォーマルの洋服を持っていけばよかった。現地ではほとんどのものは調達できるのでそんなに多く持っていかななくてよかったと感じた。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーに事前に危険な場所や危ないことなどを新しい場所に行くときなどに聞いた。特に犯罪に巻き込まれてはいない。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

大学で WiFi を使うことができたのがとても便利だった。一部少し山の方に行くと電波が繋がりにくくなるが、仕方ないと思って使用したいためそこまで不便には感じなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
とても親切なホストファミリーだった。最初はどんな家庭に泊まるのかとても緊張していたが、現地の人の大袈裟な歓迎で最初から心を開いて話をすることができて滞在中も困ることはあまりなかった。最初から自分の感じている感情などを共有しておくといいと思った。また、留学生同士で固まりすぎないでホストファミリーと過ごす時間を大切にしたい方がいいと個人的には感じた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
大学での授業がプレゼンが多くとても大変だったが英語力の向上の意味でもそれ以外の意味でもとても役立つと感じた。
2) 課外プログラムについて
たくさんのアクティビティを準備していただき休日も楽しむことができた。また、参加の可否を自由にしてくれたためホストファミリーと土日過ごすことができて満足している。バンクーバー旅行についてはもう少し定員を増やしてほしいと思う。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
ビクトリアはとても過ごしやすい気候であり、さらに滞在期間が冬から春であることを考慮しているような機構に対応した服装を持っていけばよかったと思った。セーターとパーカーと T シャツなど。また、個人的には運動する機会が多かったのでジャージを持ってよかったと感じた。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

観光地のそこまで多くないビクトリアであるからこそ、英語を学ぶことに重点を置いて1ヶ月間過ごすことができたと感じた。留学生だけでなく現地学生とも関わることができたのはカナダ人がとても優しくフレンドリーだからだと思う。外国人は日本人ほど優しくないと思いに思い込んでいたが、ビクトリアの人は日本人以上に優しく親切で、また、街も治安が良く終始気持ちよく過ごすことができた。これから留学に挑戦しようと考えている人に対して 1 番伝えたいことは、自分の英語力に自信がなくても頑張って自分の意見を伝える努力をすることが大切なので諦めないで伝える姿勢、コミュニケーションを取る姿勢を大切にほしいということです。